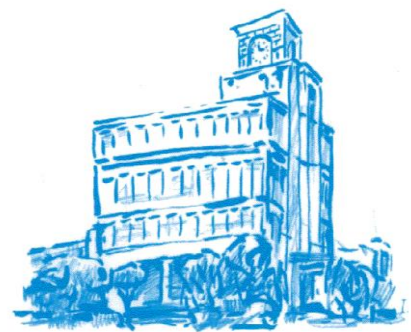


## 伸びる教師 —初任者の訪問指導を通して気づいたこと—

伊丹市立総合教育センター  
所長 永嶺 香織

今年も残すところあと1ヶ月となってまいりました。夏の大流行が嘘のように、現在は「新型コロナ」の感染者が大きく減少しています。しかし、このまま「新型コロナ」が収束するとは思えません。

さて、10月25日から約1ヶ月間に渡って、今年度第2回目の初任者訪問指導を実施しました。初任者は、半年の経験を重ねずいふんとたくましくなり、緊張されながらも活き活きと授業をされていました。先生を応援してくれているかのように精一杯学習に取り組む子どもたちの姿から、子どもたちとの信頼関係が着実に構築されていると感じました。



事後指導において、「1回目の訪問指導以降、どのようなことを心がけてきたか」と質問すると、「授業において一人ひとりを見る授業」「一人ひとりが考える個別の学びを大事にすること」「めあてとふり返りを徹底し、学習を定着させること」「ペアやグループを取り入れた協働的な学びを大事にすること」「ICTの効果的な活用」などをあげていました。先輩たちからたくさんの助言をもらい、その言葉を真摯に受け止め、試行錯誤しながら授業改善に取り組んできたのだと思います。

このような、子どもたちに求められている資質・能力の育成をめざし、謙虚な気持ちでスキルアップを図る姿勢は、教師という仕事の原点であり、どれだけ経験を重ねたベテラン教師であっても持ち続けなければならない資質です。

授業は、全ての子どもたちに対し、必要な資質・能力を育成することが目的です。一人ひとりの学びの状況を把握し、どのような手立てで学習を進めるのかという枠組みを考えると同時に、授業の中で子どもたちの反応やつぶやきを拾いながら、子ども自身が自分の力で課題解決を図り、学びを深めていけるよう授業を展開する技術を磨く必要があります。このような技術を身につけるためには、日々、自らの授業をふり返ることが不可欠です。

平素から自分の授業をふり返り、自校の子どもたちの課題改善に向け、研究活動を通して高い指導技術を身につけたり、授業改善に向け自己研鑽を積み重ねたりしていくことは、初任者に限ることではありません。

# 誰一人取り残さない授業実践

～全ての子どもが幸せな人生を送ることができるように～

●よりよく課題を解決し、  
自己の生き方を考えていく

## ④全体で共有

整理・分析の結果を他者にわかりやすく伝え、共有する。  
(レポート、新聞、ポスター、プレゼンテーション等)

## ⑤ふり返り

・振り返りシート等に自分の考えを文章でまとめる  
・本時の内容でわかったこと、新たな気づきや新たな疑問等についてまとめる。

## ③協働的な学び

・多様な他者と協働しながら、相手を尊重し、自分の意見を述べ合う。  
・収集した情報を整理し、子どもたちどうして比較・分類して関連付け類似点や共通点、相違点を発見したり、因果関係を導き出したりすることで分析する

## ②個別最適な学び

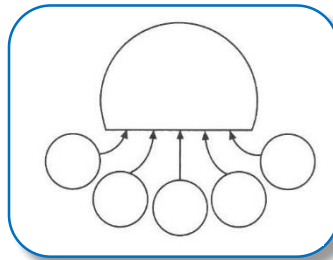
・子ども一人ひとりの特性や学習進度、学習到達度に応じて、観察、実験、見学、調査、探索、追体験等、時には校外での体験活動を通して**情報収集を自覚的に行う**こと。  
・図書館の書籍で調べる、地域の人にインタビューするなどよい。  
・カリキュラムマネジメントを行い、教科横断的に他教科での学習成果が生かされるように**しかけておく**。

## ①めあての設定

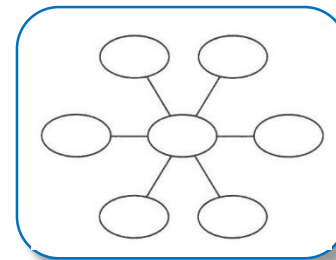
日常生活や社会に目を向けた時に湧き上がってくる疑問や関心に基づいて、子ども自らが課題意識をもち、その意識が連続展開する。そのために教師が意図的に働きかけをすること。

### 個別最適な学び・協働的な学びを促進するツール

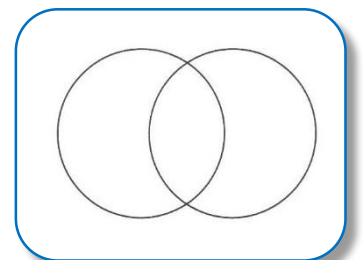
#### ●思考ツール



クラゲチャート



ウェビングマップ



ベン図

#### ●ICT



インターネットでの調べ学習やカメラ・動画撮影アプリを活用して、課題解決に**必要な情報を収集、蓄積し、いつでも引き出せるようにする**。



スクールタクト等のアプリで情報を共有し、自分の考えと他者の考えを比較し、共通点や相違点を見出しやすくする。



プレゼンテーションアプリなどで得られた情報をまとめ、可視化し、**相手にわかりやすく説明できるようにする**。

インターネットおよびweb会議システムを活用し他校や異校種でつながり、お互いの考えや、地域的な特色を共有できるようにする。



教師が説明する時は大型提示装置等を活用し、児童生徒が教師の説明を聞く時と、作業する時のメリハリをつける。

わかることで授業が楽しくなり  
児童生徒の「もっと知りたい」、「解決したい」  
を引きだしていく。

⇒「深い学び」の実現

# 書籍紹介



アクティブ・ラーニング、カリキュラムマネジメント関連の書籍を紹介します。  
授業力向上（カリキュラム）支援センターにて貸し出ししています。

## 実践！ アクティブ・ラーニング 研修

アクティブ・ラーニングの理論から事例、改善プロセスが紹介されています。事例では校内研修をはじめとする研修の役割やあり方が紹介されています。

## 深い学びを育てる 思考ツールを活用した 授業実践

「考える力、思考力」の育成には、比較する、分類するなどの思考スキルを思考ツールによって育成する事例が実際の授業風景とともに載っています。

## 生活・総合 「深い学び」のカリキュラム・デザイン

カリキュラム・デザイン実践について、子供たちの「深い学び」の姿が資質・能力ごとに紹介されており、実践後の子どもたちをイメージしやすいです。



## 教育相談

1 教育相談では、お子様に関する様々な悩み、相談に応じております。

### 2 連絡先

<電話相談>

電話 072-772-6171

平日：9時00分～18時00分

※水曜：9時00分～17時00分

土曜：9時00分～17時00分

<来所相談>※予約制です。

電話 072-780-2484

平日：9時00分～18時00分

※水曜：9時00分～17時00分

土曜：9時00分～17時00分

### 3 対象者

伊丹市在住・在学の幼稚園児・小学生・中学生・高校生  
および保護者・教職員の方ならどなたでも利用できます。

- ・秘密は厳守します。
- ・相談は専門の相談員があたります。
- ・無料です

## 医療相談

1 精神科医師による個別相談

2 実施日時

第2 火曜日 15時00分～18時00分  
(医師の都合によって変更あり)

3 相談申し込み先

- ・市立学校園に通われている方は、学校園をとおしてお申し込みください。
- ・その他の学校園の方は総合教育センターまで、ご連絡ください。

電話 072-780-2480

## 医療発達相談

1 発達の専門医師による個別相談

2 実施日時

第3 木曜日 15時00分～18時00分  
(医師の都合によって変更あり)

3 相談申し込み先

- ・市立学校園に通われている方は、学校園をとおしてお申し込みください。
- ・その他の学校園の方は総合教育センターまで、ご連絡ください。

電話 072-780-2480

発行 伊丹市立総合教育センター  
所在地 〒664-0898 伊丹市千僧1丁目1番  
TEL 072-780-2480  
FAX 072-780-2482  
開館日 月・火・木・金 : 9:00～21:00  
水・土 : 9:00～17:00  
休館日 日曜・祝日、年末・年始  
総合教育センターHP <http://www.itami.ed.jp/>

こまったことがあったらすぐ相談

兵庫県教育委員会  
ひょうごっ子SNS悩み相談  
LINEを使って利用できます

